

<記載例>

- 災害発生現場に居合わせた職員が「現認書」を作成
- 目撃者の立場から被災状況を記入  
(認定請求書の「2 災害発生の状況」と同じ表現は避ける)

現 認 書  
 事 実 証 明 書

被災する職員事に項	被災職員の職氏名	主事 広島 太郎	
	災害発生の日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日) 午後 4 時 00 分ごろ	
	災害発生の場所	〇〇市〇〇町の〇〇公民館	
災害発生の状況 現認者等と被災職員との関係も明記のこと	私は、被災職員の所属係の同僚の□□です。		
	当日は、第〇〇回〇〇市大菊花大会に展示するための菊の鉢を回収するため、2班に分かれて、それぞれ2tトラックで、市内の小中学校に管理をお願いしていた菊の鉢を回収してまわりました。		
	当初、展示会場に直接搬入する予定でしたが、台風が近づいていましたので、〇〇公民館の倉庫にいったん仮置きすることになっていました。		
	私は、広島さんとは別の班で、私の班が回収作業を終えて〇〇公民館に到着したときには、広島さんの班はまだ戻って来ていませんでしたが、私が倉庫で菊を降ろしていると、広島さんが乗ったトラックも帰ってきました。作業を続けていると、「痛っ!」という大きな声が聞こえたので、振り返ってみると、トラックの側でうずくまっている広島さんがいました。ブルーシートに覆われていた角材に気付かず、それを踏んで足を捻ったようでした。		
	広島さんが足首の激痛を訴えたので、病院に行ったほうがいいと思います、作業の続きを他の職員にお願いし、すぐに私の運転する車でA医院に連れて行きました。		
	現認者等の証明	上記のとおりであることを証明します。	
		令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
		住 所	〇〇市〇〇町〇〇番地
		所 属	企画部観光振興課
		職氏名	主事 □ □ □ □

現住所を記載すること

【注意事項】

- 1 この証明書は、災害の目撃者（現認者）が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の通報を受けた職員が「事実証明書」として作成すること。
- 2 「災害発生の状況」の欄は、できるだけ詳しく記入すること。
- 3 証明者の住所は現住所を記載すること。